

## 1 はじめに

愛媛県では、議員提案により制定されることとなった「えひめお接待の心観光振興条例」が平成22年4月1日から施行され、県民、観光事業者、観光関係団体及び四国各県その他の地方公共団体との連携と協働の下に、観光旅行者への温かな心配りなどお接待の心で観光の振興を図り、地域経済の発展と活力に満ちた地域社会の実現に努めています。

平成23年3月に同条例に基づき「愛媛県観光振興基本計画」を定め、平成27年度をもって目標年次に達したことから、これまでの取組み状況や本県観光を取り巻く環境の変化等を踏まえ、平成28年に「第2期愛媛県観光振興基本計画」を策定し、国内外からの観光誘客と県内観光の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図っています。

令和2年度は、第2期計画の最終年度であったものの、新型コロナウイルス感染症の世界規模での流行により観光を取り巻く環境は大きな影響を受けており、今後の感染状況や旅行者の意識変化、旅行需要の回復度合などを見通すことが極めて困難な状況であることから、終期を延長し、現計画に基づく施策を基本としつつ、変化する旅行者のニーズに合わせた取組みを実施しているところです。

## 2 報告の根拠規定等

この報告書は、条例第10条第5項の「知事は、毎年度、観光振興基本計画に基づき講じた施策の実施状況について、議会に報告するとともに、これを公表しなければならない。」との規定に基づき、議会に報告し、公表するも

## 3 令和2年度の施策の実施状況（総括）

新型コロナの感染拡大により国内で2 事態が宣言され、全国各地で人流抑制策が  
取られるなど、観光業界が大きな打撃を 手となる中でも、本県観光の目指すべき将  
来像「お接待の心でもてなす愛顔の愛媛」を実現するために掲げる3つの方向性「人材の育成」「誘客機能の強化」「観光資源の魅力」に基づき、「国内外に向けたSHIKOKU・EHIMEの発信と、オンリーワン愛媛の確立」を重点テーマに、下記4本柱の25施策について、市町及び民間も含め、感染拡大防止とのバランスを見極めながら取組みを進めてまいりました。

- ・愛媛ブランド確立による観光資源の魅力向上
- ・インパクトのある観光PRの展開等による誘客機能の強化
- ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際観光の一層の推進
- ・地域の総力を挙げた取組みの推進

第2期計画5年度は、新型コロナの影響により海外との往来が大幅に制限されるとともに、日本スポーツマスターズ2020愛媛大会やサイクリングしまなみ2020をはじめ、大小様々なイベントが中止・延期を余儀なくされる中、感染状況を見極めながら県民を対象とした県内旅行の推進など、新しいスタイルの旅行の定着と促進を図ったほか、オンラインを活用したプロモーションの強化や商談会等の実施、アフターコロナを見据えた受入環境の充実に取り組み、コロナ禍で落ち込んだ観光需要の喚起と収束後の反転攻勢に向けた施策を展開した年となりました。

主な施策としては、県民や近隣県在住者を対象としたマイクロツーリズムの推進による「着地型観光プログラムの育成」のほか、観光事業者等のGoogleマイビジネスへの登録支援等による「観光客にやさしいまちづくりの推進」や、コロナ禍で変化する旅行ニーズに対応したプロモーション展開による「多様化する観光客のニーズに対応した的確な誘客活動」などを推進しました。

<主な施策成果>

○着地型観光プログラムの育成

- ・新型コロナの感染状況を見極めながら、県民及び近隣県在住者を対象に1人泊6千円以上の県内宿泊旅行に対し、1人泊当たり5千円を割引く県内宿泊旅行代金割引を実施した結果、10万人泊超の利用実績
- ・5者以上の観光事業者で構成するグループによる県民の県内旅行促進につながる取組みを募集し、22グループの取組みを支援

○観光客にやさしいまちづくりの推進

- ・観光事業者等のG o o g l eマイビジネスへの登録を支援し、G o o g l eマップ等での検索結果に店舗情報を表示させる「えひめデジタルのれん」プロジェクトを実施した結果、1,044社が登録
- 多様化する観光客のニーズに対応した的確な誘客活動
- ・オンライン旅行会社のサイト上に本県の特設ページを開設し、安心して楽しめる旅のプランを掲載するなど宿泊に結び付ける仕組みの構築を図った結果、2年9月から3年2月までの間で約43万人泊の宿泊実績
  - ・過去の宿泊データや愛媛県関係サイトの閲覧履歴等により、ターゲットを絞った効果的なデジタル広告を配信した結果、特設ページへの誘導実績が約66万PV

こうした中、令和2年の観光客総数は、コロナ禍による外出自粛や施設の休業、イベントの中止等の影響により、前年比35.5%減の17,183千人（うち県外客が6,984千人（前年比38.0%減）、県内客が10,199千人（前年比33.7%減））と、昭和46年以降の最小値となりました。

また、観光客数の減少に伴い観光客消費総額は昭和63年以降最も低い877億円（前年比25.3%減）となりましたが、国のG o T oトラベルキャンペーンや県の宿泊旅行代金割引により、宿泊を伴う旅行の割合が増加したことなどから、1人当たりの消費額は5,104円（前年比15.8%増）で、過去最高額となりました。

外国人観光客については、世界的に、国境を跨ぐ移動が大幅に制限された影響により、県内における外国人延べ宿泊者数は前年比約73.1%減の58千人となりました。

コロナ禍の長期化により、第2期計画で定めた目標値である観光客総数29,000千人、観光客消費額1,200億円等の達成については見通しが立たない状況となっていますが、全国の感染状況を踏まえ近隣県から段階的かつ着実に誘客を行うほか、データを活用した効果的なプロモーションを実施するとともに、安全・安心を最優先に、少人数化、アウトドア、高品質志向などへとシフトする旅行スタイルやニーズに的確に対応したコンテンツ開発や、アフターコロナを見据えた受入環境の整備等を戦略的に実施し、愛媛DMOとも連携しながら落ち込んだ観光客数の回復と地域経済の活性化を図っていくこととしています。

#### ◆将来到達目標の達成状況

	第2期計画目標(A)	令和2年実績(B)	目標達成率(B/A)
観光入込客数(総数)	29,000千人	17,183千人	59.3%
県外観光入込客数	12,000千人	6,984千人	58.2%
宿泊客数	5,300千人	3,257千人	61.5%
外国人宿泊客	※1 297千人	※2 58千人	19.5%
観光客消費額	1,200億円	877億円	73.1%

※1：平成28年12月に訪日動向等を踏まえ、「134千人」から「297千人」に上方修正。

※2：観光庁「宿泊旅行統計調査」の確定値による。これ以外の実績値は県による推計値。

#### ◆観光客数の推移

